

## 福島市バリアフリー推進パッケージの 取り組みについて



福島市共生社会推進課

1

## バリアフリー推進パッケージについて

### 1) 目標

- 東京2020大会のレガシー
- 官民一体となった取り組みの実施
- 『誰にでもやさしいまち ふくしま』の実現



### 2) 目標達成に向けての取り組み方針

- ①「誰にでもやさしいまち ふくしま」の実現を目指し、まちのバリアフリー化を進める
- ②具体的な目標や目標年次、重点整備地区、実施する事業等を定める基本構想の策定。
- ③官民の連携強化と推進体制の構築

2

### 3) 重点取り組み項目

- ① (仮称) 障がいのある人もない人も共にいきいきと暮らせる福島市  
づくり条例の制定 (障がい福祉課)  
⇒R2年 4月 障がいのある人もない人も共にいきいきと暮らせる  
福島市づくり条例施行
- ② 共生社会ホストタウンへの登録 (オリパラ推進室)  
⇒R1年12月 共生社会ホストタウン登録  
R2年 3月 先導的共生社会ホストタウン登録
- ③ 交通バリアフリー基本構想の見直し検討 (交通政策課)  
⇒R3年 6月 バリアフリーマスタープラン策定
- ④ バリアフリー基本構想策定 (交通政策課)  
⇒R5年 3月 福島市バリアフリー基本構想策定



3

### 4) 主な取り組み

#### ① バリアフリーマスタープラン策定 (R3年 6月)

基本理念  
『誰にでもやさしいまち ふくしま』

- まち歩き点検、ワークショップ実施
  - 障がい者、関係機関等が協働で点検、解決策を検討
  - 移動等円滑化地区を6地区設定



福島市

4

## ②バリアフリー基本構想 策定(R5年 3月) (中心市街地・飯坂温泉地区)

- ワーキンググループ、まち歩き点検、飯坂温泉でのおもてなし勉強会実施
  - 全国的にも珍しい温泉地区でのバリアフリー基本構想を策定
  - ハード・ソフト・の特定事業を位置づけ
  - 旅客施設（ハード）では**バリアがあることを伝えることも大切な情報発信**であり、**バリアは、おもてなし（ソフト）**で対応できる。



【ワーキンググループ】



【まち歩き点検】



【飯坂温泉おもてなし勉強会】

5

## ③公共施設のトイレ洋式化、多目的トイレの設置

- 公共施設のトイレ洋式化
- 公共施設トイレの新設、修繕に合わせて多目的トイレを設置
- 公共施設男性用トイレへのサニタリーボックス設置



- 市役所、各支所への設置
- パートナーへ情報提供



6

#### ④心のバリアフリー普及促進の取り組み

##### ●心のバリアフリーキャッチフレーズ設定 ～共生、学びは無限大～

##### ●心のバリアフリー推進隊の活動

- パートナーの市内の大学に通う学生により結成
- 各種イベントでの心のバリアフリー普及活動



##### ●啓発冊子「心のバリアフリーってなあに？」の配布

- 市内の小学4年生へ配布
- 総合学習や道徳の授業で活用



##### ●心のバリアフリー出前講座の開催

- 小・中学校、高校、大学、企業、団体が受講
- 講話や体験型講座を実施

7

## 2 これまでの主な取り組み

- R1年 7月 バリアフリー推進パッケージ スタート  
第1ステージ (2019. 7月～2020. 3月)  
～官民一体のバリアフリーの推進に向けて庁内連携と官民連携の輪を広げる～
- R1年 9月 バリアフリー推進パートナーキックオフミーティング開催
- R1年10月 バリアフリー推進パッケージ まち歩き点検実施
- R1年12月 共生社会ホストタウン登録決定 (相手国: スイス)
- R2年 3月 先導的共生社会ホストタウン登録決定 (相手国: スイス)
- R2年 4月 第2ステージ移行 (2020. 4月～)  
障がいのある人もない人も共にいきいきと暮らせる福島市づくり条例施行
- R3年 6月 福島市バリアフリーマスタープラン策定
- R3年 7月 第2回バリアフリー推進パートナーミーティング開催  
東京オリンピック 野球、ソフトボール競技開催 (県営あづま球場)
- R4年 9月 第3回バリアフリー推進パートナーミーティング開催
- R5年 3月 福島市バリアフリー基本構想策定

8